

# わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.4 R3,6,2

「わーい、雨だ！」園庭で遊んでいるとポツリポツリと雨が降ってきました。子どもたちは慌てて部屋に戻るかと思いきや…「大丈夫、まだ遊べるね」と雨を全身で受けながら今まで以上に生き生きと遊びだしたり、屋根のある場所を探して潜り込み「ここなら雨が降ってもいいよね」と遊びを継続。雨が降る園庭で、雨降りならではの楽しみを見つけたり、雨をしのぐ方法を考えたりして、いつもと変わらずに遊び続けていました。私たち大人は、雨が降ると「悪い天気」なんて表現しますが、子どもにとっては晴れても雨でも「良いお天気」。そして植物だけでなく、子どもにとっても「恵みの雨」となるように充実した一日を過ごせたらいいなと思っています。



雨だれほったん、見つけた！

ダンゴムシ  
いるかな？



ダンゴムシ探しに夢中の子どもたち。枯葉の下や狭い隙間に見つけて、思わず手を伸ばします。小さな小さなダンゴムシを指先でつまみ、次々と捕獲。気が付けば飼育ケースの中は、満員になっていました。

## 実体験を通して身につける ちょうどいい力

園庭で遊ぶ子どもたちは、生き物や植物、土や水などに触れて、力加減を学んでいることがわかります。

小さなダンゴムシ、どのくらいの力でつまめば潰れて死んでしまわないかな？

そっと土をかけてあげるって、どのくらいの力かな？こんな感じ？

生き物に対する気持ちやその場の雰囲気、自分にかけている言葉などから、このくらいかな？と考え、加減をしています。

赤ちゃん、いたよ！  
ほら、ここ！



子どもたちと一緒にヒマワリとアサガオの種をまきました。驚くような早さで芽を出し、ぐんぐんと大きくなっていく様子を毎日楽しみに観察しています。「あの種だよね？」小さな種から大きくなっていく様子が不思議でたまらない様子です。

なんでもボタン一つで操作できてしまう現代だからこそ、  
増いたいON・OFF以外の力

早く芽が出ますように…



これでいいのかなあ？

## こんなことがありました！

今年もヤマモモの実がたくさん実りました。木の実を見つけると、なんだか宝物を見つけたように嬉しくて、できるだけたくさん拾い集めたいと思うのは大人も同じでしょう。でも、その集め方に疑問を感じたのです。

赤く熟すまで待ちきれず、無理やり叩き落そうとする…

葉や枝が折れて、辺りに散乱していても気にしない…

自分の思いを達成するための方法を考えたり、考えたことを実行したりすることは、とても大事な経験だと思います。でも、何でもかんでもやりたいようにやればいいのかではない。「ちょっと待って！」と立ち止まって考えさせることも大事だと思いました。

## ヤマモモの木はどんな気持ち？

赤くなったら美味しく食べられることを伝えたり、叩かれて枝を折られてしまう木の気持ちについて考えたり、子どもたちだけでは気が付かないことを私たちが伝えたり、一緒に考えたりすることも必要だと感じました。こういった実体験と合わせて身近な大人から学ぶことの大きさも感じています。

